

地域に愛されて、50周年！



青南を みんなの 心のふるさとに 心の根っこを育てよう

平成29年度

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜はじめまして、園長の新山です＞

園庭の桜が美しく咲き誇り、楓（かえで）の若葉は清々しく、新しい一年の始まりを祝ってくれています。

はじめまして、園長の新山（あらやま）です。開園50周年の記念すべき年に園長として赴任したことに、うれしいご縁を感じています。南青山にある青南幼稚園ならではの保育を、皆さんと共に創り出していくことを楽しみにしています。元気なあいさつの言葉が響き合い、大人も子どもも笑顔の輪が広がる青南幼稚園にしていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

＜心の根っこを育てよう＞

幹や枝葉が立派な木は、地面の下にしっかりと根を張っています。私たちは、子どもたちが個性豊かな立派な木々として伸びていくために、その根っこを丁寧に育てます。家庭や地域とのつながりを大切にしながら、身近な人や自然とのかかわりから生まれる遊びや生活を通して、子どもたち一人一人に、人への信頼感を基盤とした主体的に生きる構えを育てます。人とかかわることは楽しい、困ったときには支えてくれる人がいるから、多少の困難にも前向きに立ち向かうという構えです。

＜青南を みんなの 心のふるさとに＞

私は、園経営のビジョンについて説明するとき、いつも「子どもたちを真ん中に、教職員や保護者、地域の方々も含めて、みんなにとって心に残る日々を共に創り出していきたい」と話しています。子どもたちの豊かな育ちは、私たち大人自身の育ちとともにあると思うからです。幼稚園は、楽しく、おもしろく、そこに豊かな学びがある「おさなごの園」です。皆さんと一緒に「青南を みんなの 心のふるさと」にしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

青南の 二十四節気

勤務する園の自然や季節の移ろいを「二十四節気」に合わせてお知らせし続けて10年を越えます。身近な自然の変化に気付く心は、子どもの心のサインに気付く感性を磨くことにもなると思い、続けているコラムです。身近な自然から感じたこと、それにかかわる子どもたちの姿などを紹介していきます。

日本には四季があります。都会であっても、その季節感を身近な自然から感じることはできます。自然の営みや移ろいを感じ取るセンサーの感度を上げていきたいものです。そして、青南、南青山の街で出会うことができる自然とのかかわりや自然からの贈り物をうまく取り入れていくことで、大人も子どもも感性を磨き、遊びや生活を豊かにしていきたいと思います。



新山と「ぶうちゃん」です
50周年記念式典は、11月25日(土)です



桜と楓(かえで)が子どもたちを迎えます



より安全に遊べるように滑り台をリニューアル



5歳児は起伏に富んだ南青山の
地域に探検隊として出掛けます



探検隊の下見であちこち歩いていると
道端の植え込みにつくしを発見！